

(別紙4)

1 自己評価及び外部評価結果

平成 29 年 4 月 27 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3371100433	
法人名	(株)メデイカメント	
事業所名	グループホームいやしの家備前2	
所在地	岡山県備前市伊部323-1	
自己評価作成日	平成29年3月3日	評価結果市町村受理日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人あしすと
所在地	広島県福山市平成台31-34
訪問調査日	平成29年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>「備前焼の里」の落ち着いた環境の中、朝は日光浴をかね玄関のベンチで歌を歌ったり、体操をして始まります。そのあとは家庭菜園をするかた、手芸を楽しまれる方とそれぞれ思い思いの時間を過ごして頂いています</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は、歴史ある備前焼の里の一角にあり、事業所開所より地道に努力している中で、地域に密着した事業所として徐々に受け入れられつつある。玄関には、地域住民が作成した絵手紙等が飾られ、住民との交流の場ともなっている。管理者は、行政の依頼で介護連携推進協議会のメンバーとして召集され、地域福祉の担い手として信頼を得ている。「基本的な人権の保護」「家庭的な生活」「生き甲斐のある生活」の理念をもとに、利用者の特技や好みを把握し、役割を持ち生き甲斐のある生活が出来るよう努めている。また、職員は30分間のミニミーティングを毎日行い、ケアの充実を図っている。利用者一人ひとりにアルバムを作成し、日頃の生活の様子を記す事で利用者の回想を促したり、生活の様子を家族に伝える事で信頼関係の構築に繋げている。環境整備では、週一回シーツを洗い、布団を干し、パジャマは毎日洗濯しており、寝具の清潔保持に配慮している。医療連携では、往診と訪問看護を利用し、状態悪化時は病院の受け入れが即時に可能で、健康面のサポートが充実している。また、管理者は病院と密に連携を図っており、利用者は安心して過ごす事が出来る。</p>

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフルームに理念を掲げ、二か月ごとのカンファレンスで理念を共有している	カンファレンス時に理念を唱和し、共有して実践に繋げている。利用者の特技や好みを把握し、役割を持ち、生き甲斐のある生活が出来るよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の保育園やボランティアなどと交流を深めている	町内会に加入している。消防署の依頼を受け地域の防災訓練に協力している。地域住民と手造りで網かごを作成し、近隣の保育所に届ける等ふれあいを楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎年夏休みに中学生のボランティアを受け入れ認知症の理解を深めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、民生委員、家族に参加していただき、近況報告や話し合いを行いサービス向上に活かしている	市介護保険課、家族代表、民生委員の参加を得て2~3か月毎に開催している。事業所報告を行い、意見交換をサービス向上に活かしている。	包括支援センター・町内会に声をかけたり、家族会の予定にあわせたりと、活発な話し合いや情報交換により今後のサービス向上に期待する。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	入居状況など必要に応じて連絡を取っている	介護保険認定や更新手続、入居の問い合わせ等で連携を密に行い協力関係を築いている。	

6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員は玄関の施錠など基本的な禁止の対象は理解し、疑問なことは話し合い拘束のないケアに取り組んでいる	問題や疑問が生じると、直ぐに話し合い、互いの理解を深めている。代替案の提案・見守りの強化など対応の工夫により身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間でお互いのケアの仕方に注意を払い防止に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加し学んだことは職員間で共有している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居相談、契約時にはゆっくり時間をかけ、家族が質問をしやすいように心がけている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族に出席して頂き近況報告をしたり意見を聞いて運営に反映している	入居費の支払いのために、毎月家族が来訪している。利用者の日頃の様子を伝え、意見や要望を聴く機会としている。SNSを利用して、要望を聴くなど柔軟に対応している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	二か月に一度ミーティングを開き意見や提案を聞き反映させている	ミーティング等で、備品の購入依頼やケアの改善など意見や提案が出され、検討しケアに活かされている。	

12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>月一回の管理者会議で状況を報告し整備に努めている</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修を受ける機会を確保し、やすいように勤務調整などで協力している</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>市内のグループホームの管理者が定期的に集まりそれぞれの活動報告をしてサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>不安の多い初期には細かな配慮を心掛け、不安なく過ごせる工夫につとめている</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>初期の段階では特に状況をこまかく報告して信頼関係を築くようにしている</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>希望するサービスを見極め、相談しながらできる限りの対応に努める努力を心掛けている</p>		

18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の残存能力を活かせるように過度の介護をせず家事などのできることは職員と一緒にしていただくようにしている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には居室でゆっくり過ごして頂き、問題点があれば一緒に本人を支えていく支援をしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの関係が途切れないよう面会にしやすい雰囲気作りに力を入れている	馴染みの美容院やデイサービスを利用する支援をしている。友人・知人の来訪時には、職員も利用者と共にお茶のおもてなしをし、関係継続の支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は一人一人の個性を把握し利用者が孤立しないよう支援している		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も気軽に訪問しやすい環境を作っている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ひとりひとりの意思を尊重してできるだけ本人の希望を一番に考えるようにしている	利用者の言葉や表情・しぐさ等の情報収集に努め、職員間で共有している。一人ひとりの思いや意向を汲みとり、利用者本位で検討し、声掛けを工夫しながら対応している。	

24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に今までの生活歴の聞き取りをしっかりと入居後に活かしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は日ごろからしっかりと様子観察して変化のあったときは申し送り現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスでケアプランの見直しをして、家族の意見を取り入れ現状に即した介護計画を作成している	利用者・家族の意見や要望を聴き、カンファレンスで見直し、現状に即した介護計画を作成している。利用者の言動や生活の様子を記載し、職員の記録内容を家族も確認出来るよう配慮している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活が見えるような記入にし家族、職員で共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に見えるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	今までの生活歴や家族の状況に合わせてひとりひとりのニーズに合った対応をしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域でのイベントなどに参加して楽しむよう支援している		

30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は本人と家族の希望を優先し適切な医療が受けられるように支援している	月2回の協力医の往診・月3回の訪問看護を利用している。歯科や他科受診は家族対応だが、職員も同行して状態を伝え、情報共有をしている。適切な医療が受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期の訪問看護で日常の様子を報告し、必要があれば主治医に相談して適切な受診を受けられるように支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	訪問看護や往診時にしかつり情報を伝え早期治療に努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療行為が無い場合は家族の希望を優先し主治医と話し合い納得のいく支援に取り組んでいる	入居時に、事業所の方針を説明し同意を得ている。重度化した場合には医師・家族・職員で話し合い、方針を共有している。チームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日ごろから様子観察をしつかりし初期対応の時期を逃さない実践力を身に付けている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	昼、夜の想定で年二回避難訓練を行っている	昼間・夜間想定で消防署立ち会いのもと、火災避難・消火訓練を行っている。消防署の依頼をうけ地域の防災訓練に協力している。	消防署との関わりを持ち、災害時の対応と協力体制の構築に期待したい。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の性格を重視した対応をこころがけている 本人が希望する愛称で呼ぶ事もあり、利用者の気持ちを考慮した上で、丁寧に声掛けをしている。管理者は「自分の親だったらどうだろう」と職員に考えてもらい、人格を尊重した言葉かけや対応について、職員間で共有している。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	トイレ誘導や入浴などその都度希望を聞き自己決定ができるよう働きかけている
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	今までの生活歴を大切に押し付けにならないよう一人一人のペースに沿って支援している
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	好みの服を選んでいたり意思表示の困難な方には同じ服に偏らない配慮をしている
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材で季節感を出したり好みを聞いたり準備や片付けも一緒にしている パンの日・魚の日があり希望でお刺身を作る事もある。畑で野菜を収穫したり、弁当持参で季節の花見へでかけたり、誕生会でケーキを食べるなど、食事を楽しむことを支援している。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの食事量や体調を把握し支援している

42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアはできないところは介助し、入眠前には義歯の消毒を行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄シートでパターンを把握しトイレでの排泄を基本にしている	トイレでの排泄を基本とし、水分の摂取量や排泄状況を記入し、パターンを把握している。夜間も利用者個々の状況に応じて、自立の支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの排便リズムを把握して 飲み物の工夫や薬の調整をおこなっている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	隔日の入浴でゆっくり湯船に浸かっていたり、ただき入浴後は保湿ケアにも努めている	利用者皆が浴槽に浸かれるよう支援をしている。ゆずや入浴剤を入れ、ゆったりと入浴している。保湿ケアに力を入れており、利用者の爪や皮膚の観察も同時に行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間を決めず就眠まで思い思いの時間を過ごして頂き、気持ちよく休んで頂けるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は一人一人の薬を把握しており疑問のあるときには薬剤師に尋ね納得のいく服薬支援をしている		

48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの張り合いや生きがいにつながることを見極め支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	桜・藤・コスモス・バラ・紫陽花・紅葉など季節を感じていただける外出をしている。	日常的に庭の草取り・日光浴や散歩をしている。季節の花見、散髪や買い物、地域行事などにも出かけている。家族の協力を得て、正月の帰宅やお墓参りの支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望があれば買い物に同行したり、代理で買い物をする支援もしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族から友人や親せきの連絡先を聞いておき、いつでも連絡ができるように支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	混乱を招くようなものや障害になるものは除き季節感のあるもので工夫している	玄関には座り心地よいベンチがあり、座って集い語ることができる。地域住民が作成した絵手紙等が飾られており、交流の場ともなる。リビングも明るく、掃除が行き届き気持ちよく過ごせる空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや畳の間など思い思いに過ごせる居場所を作っている		

54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は家族や面会者がくつろげるよう本人、家族で工夫して頂いている	柔らかな日差しが感じられる居室である。使い慣れたベッドやタンス・家族写真や利用者が作成した作品が飾られている。気持ちよく暮らせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自走式車いすの利用者が自由に安全に移動ができるように障害になるものをおかないようにしている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		○	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない